

よっ!!

ONE FOR ALL! ALL FOR ONE!

— 2004 —

第 1 号

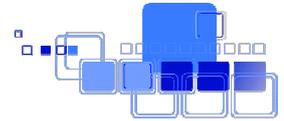
4 月 15 日

さくらが風に舞っています。
春本番!!!
そこそこに、
若葉が芽を出しています。
若い力の、予感が・・・

統括管理部



2004年3月27日グループHiRAC 3工場 グループ技術連絡会を開催



- 2004年3月27日土曜日、グループHiRACの3工場（堺臨海・千代田・兵庫大阪）から21名が集まり、第1回のグループ技術連絡会が開催されました。
- 9時から始まった連絡会には、来賓としてISO認証取得のために、指導して頂いた塩谷篤雄氏を招き、『コンサルティングマインド』という題で講演して頂きました。
- 『コンサルティングマインド』とは、既成の価値にただ共有・共感するのではなく、自らが自らの言動の中で、自らの価値基準を創り、新しい価値創造をする思いを指し、物真似でなく自らのビジョン、自らのスタイルによって企業の中で影響を与えていく姿勢を意味するとのことです。
- 連絡会は、登録証・登録証付属書の贈呈が3工場になされた後、審査機関から届いた高級ワイン??? で乾杯をしました。
- 社長からの指示書に基づいて計画された各部署（工場）の品質目標が発表され、『何を、どの程度やったら、どの程度達成したと考えるか』をもう少し盛り込むべきであるとの反省点もありましたが、本年度は各工場の自主性を重んじる方向でまとまりました。



千代田 : 顧客の要求する安定した製品の供給
堺臨海 : ニーズに応じた確かな品質を供給するため、
「凡事徹底」「直行現場」「直接現物」「直視現実」を実行する。
兵庫大阪 : 「安定した製品」の供給
「迅速なクレーム処理」に対応する意識の向上
統括管理部 : 各工場間の円滑な運営をするために、各部門への指示伝達の充実。

- 実務報告では、期待される5人の若い技術課員から発表がありました。
清水 剛 さん : 戻りコンクリートの処理について
木下 誠 さん : 3シーズンを通してのスランプ・エアーの変動管理について
南野 勝広 さん : 公示検査の概要（3工場とも本年度受検）
豊嶋 重夫 さん : 大阪湾夢洲トンネルの実機試験を経験して
小川 英樹 さん : 高強度実機試験の概要報告

- 次回には、業務課の皆さんの報告をお願いして、連絡会を終了しました。



技術グループ HiRAC

ISO 9001:2000を認証取得

登録番号: Q1043 審査機関: (財)ベクターリビング R029
登録範囲: レディーミクストコンクリートの設計・開発及び製造
登録組織: 堺臨海生コン株式会社
千代田生コンクリート株式会社
兵庫大阪生コンクリート株式会社

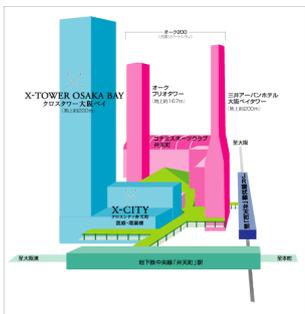


泉北がクロスタワー大阪ベイを担当 高所圧送の設備・技術を評価

- コンクリート圧送のプロフェッショナル泉北が、プロジェクト『クロスタワー大阪ベイ』を担当することになりました。
- 泉北の設備・技術の総合力が評価され西日本一の建築構造物に対するコンクリート圧送工事を受注したものです。
- 4月には杭工事が終了し、5月から基礎工事に入ります。
- 70Nの高強度域での、高所圧送は泉北の実力を発揮できることでしょう。



三井不動産オンラインニュース



クロスタワー大阪ベイ第1期工事

施工業者	鹿島建設 株式会社
管理会社	オリックス・ファシリティーズ(株)
設計	株式会社 昭和設計
構造・階数	鉄筋コンクリート造地上54階地下2階建
所在地	大阪市港区弁天1丁目3-1, 2 (地番)
敷地面積	5,568.41 m ²
建築面積	1,687.38 m ²
延床面積	66,708.91 m ²
竣工時期	2006年8月末日

プロジェクト全体概要

建築面積	3,800.02 m ²
延床面積	81,025.91 m ²
棟数	2 棟



コンクリートの社内研修開催

「コンクリートの基礎知識とその応用」

主催：統括管理部事務局

- 2004年度教育計画の一つとして、社内研修が堺臨海生コンで4月10日より開催されました。講師は、兵庫大阪生コンクリートの岡野誠技術課長で、自由な雰囲気なかで行われ、わかりやすい研修会だと好評のうちに、第1回が終わりました。
- 研修は本年度中に、土曜日(9:00~16:00)を利用して18回行われます。
- 12月までの前半は、コンクリートの基礎知識を身につける講座がくまれ、3月までの後半には、基礎知識を使った説明力を養う応用講座で構成されています。
- 研修は、現場への応対に自信を持って対応できる実力をつけることが主とした目的となってますが、資格取得のためにも役立てて頂けたらと願っております。



口語訳ISO9001:2000

第1回

- ・わたしたちのグループは、ISO認証登録をしましたが、ISOの目指しているものは何かを十分に理解しているとは思われません。
- ・それは、全ての業種・業態に当てはめようとした規格が、英語を日本語訳にしたなじみにくい言葉で表したものであることも理由の一つだろうと思われまます。
- ・そこで、ISOの専門誌「アイソス」の2002年10月号に、掲載されました口語訳を、数回にわたってご紹介し理解を深めていこうと思います。

序文

0.1 ISO9001の原則

◆ 経営戦略として

ISO9001は経営の考え方について書いてあります。ISO9001を導入するかどうかは、会社や組織の「経営戦略」として決めるべきです。

◆ 同じ仕組みを求めているのではない

経営の仕組みは、会社や組織により異なります。ISO9001は全ての組織に同じ仕組みで仕事をしてもらおうとか、同じ文書を作ってもらおうなどとは考えていません。ISO9001が決めるのは、大まかな原則だけで、具体的な方法は各々の会社や組織で考えてもらいます。

◆ 製品について決めるのではない

ISO9001は、製品の具体的な管理方法について決めていたものではありません。個々の製品の管理方法は、決まっているという前提で、その管理の仕組みをうまく動かすための方法について定めています。

みんなで決めたルールは守る。
ルールを変える時はみんなで話し合ってから変える。
変わるまではそのルールは守る。
ルールを守らないこと、それが『不適合』です。
品質マニュアル・規定、それが『ルール』です。